

平成 25 年度 秋期
IT ストラテジスト試験
午後Ⅱ 問題

試験時間

14:30 ～ 16:30 (2 時間)

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1 ～ 問 3
選択方法	1 問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B 又は HB の黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2 問以上○印で囲んだ場合は、はじめの 1 問について採点します。

〔問 2 を選択した場合の例〕

選択欄	問 1	問 2	問 3
	1 問選択		

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“論述の対象とする構想，計画，システムなどの概要”の記入方法（問１又は問２を選択した場合に記入）

論述の対象とする構想，計画，システムなどの概要と，その構想，計画策定，システム開発などに，あなたがどのような立場・役割に関わったかについて記入してください。

①～⑮の質問項目に従って，記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

“論述の対象とする製品又はシステムの概要”の記入方法（問３を選択した場合に記入）

論述の対象とする製品又はシステムの概要と，その製品又はシステム開発に，あなたがどのような立場・役割に関わったかについて記入してください。

①～⑭の質問項目に従って，記入項目の中から該当する番号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

問 1 経営戦略実現に向けた戦略的なデータ活用について

事業者間の競争が激しくなる中、新規顧客の獲得、顧客満足度の向上などの経営戦略を実現するために有効な施策を立案し、実施することが重要になっている。事業に関連する社内外の様々なデータに着目して事業の現状を的確に把握したり、多方面から分析を行って変化の兆しをいち早く察知したりして、施策の立案に結び付けることができる、戦略的なデータ活用が注目されている。

例えば、戦略的なデータ活用による施策の立案としては、次のような事例がある。

- ・インターネット上の様々な Web サイトの情報を分析して一般消費者の潜在的なニーズ、他社の動向などを察知し、商品の企画、販売拡大などの施策を立案する。
- ・POS、電子マネー、ネット販売などの顧客の購買履歴データを分析し、商品の品ぞろえの見直し、顧客への新たな提案などの施策を立案する。
- ・設備、機器の稼働実績データを分析し、故障の予兆を察知して予防保全の提案を行ったり、運用改善の提案を行ったりする新たなサービスの提供などの施策を立案する。

IT ストラテジストは、戦略的なデータ活用による施策の立案について経営者、事業責任者に説明するために、経営戦略上の有効性、運営体制、人材育成上の課題、他社の成功要因などの事項を検討しておくことが重要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった経営戦略実現に向けた戦略的なデータ活用について、対象となった事業の概要と特性、及び戦略的なデータ活用を行うことになった背景を、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた戦略的なデータ活用について、活用したデータと分析方法を明らかにするとともに、分析結果を踏まえて立案し、実施した施策を、800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた施策について、経営者、事業責任者に説明するために、どのような事項を重要と考えて検討したか。また、立案し、実施した施策に対する経営者、事業責任者からの評価について、改善すべき点を含めて、600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

問2 新たな収益源の獲得又は売上拡大を実現するビジネスモデルの立案について

インターネットなど情報通信技術の普及・発展によって、新たな収益源の獲得又は売上拡大を実現するビジネスモデルの構築が可能になってきた。

企業は、提供する商品・サービス、顧客との接点及び新規事業機会の創出に情報通信技術を適用することによって、新たな収益源の獲得又は売上拡大を実現することができる。例えば、次に挙げるような新しい概念の商品・サービス、顧客及びマーケットを対象としたビジネスモデルを立案することができる。

- ・商品販売の事業ではなく、情報通信機能と組み合わせることによって、商品を使ったサービスの利用環境を提供するビジネスモデル
- ・インターネットを利用したシステムを導入することによって、個々の顧客に対して、商品・サービスを直接提供するビジネスモデル
- ・GPS や無線 LAN 通信技術を適用することによって顧客の行動、所在などの情報をタイムリに収集して、新たな商品・サービスの提供機会を創出するビジネスモデル

IT ストラテジストに求められるのは、このようなビジネスモデルの立案において、ビジネスプロセスが技術的に実現可能であること、顧客・仕入先などの関係者から受け入れられること、投資対効果を確保できることなどの確認・検証を行い、その結果を経営者に提案することである。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが立案に携わった、新たな収益源の獲得又は売上拡大を実現するビジネスモデルについて、経営上の課題、目標及び立案することになった背景を、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた経営上の課題、目標に向けて、どのようなビジネスモデルを立案したか。対象とした商品・サービス、顧客及びマーケットを明確にして、適用した情報通信技術を含めて、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べたビジネスモデルの立案において、どのようなことの確認・検証を行い、その結果についてどのように経営者に提案したか。提案に対する経営者からの評価を含めて、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。

問3 組込みシステムの製品戦略におけるプロモーションの支援について

組込みシステムの IT ストラテジストは、市場動向と自社技術を踏まえて製品開発戦略を策定する役割を担う。また、製品の販売に関して、プロモーション部門及び営業部門（以下、営業部門という）を、的確に支援することが求められる。

企業にとって自信がある製品を開発しても、ターゲットとする利用者にまず製品が認知されなければ購入につながらない。その対応として最も重要なことは、高い訴求効果を得ることである。IT ストラテジストは、営業部門に対して、開発計画時の市場調査の分析結果などを提示し、支援する必要がある。また、開発担当者を通じて、自社技術の要点、知的財産権などによって競合メーカーとの差別化を図れる強みについて、利用者に対する営業部門の説明を支援することも重要である。さらに、営業部門から製品のサンプルなどの要求があった場合は、開発部門に対して提供時期などの計画の立案と実行を指示する必要がある。

次に重要なことは、プロモーション開始時期の決定である。IT ストラテジストは、適切なプロモーション開始時期を見極めるために、販売開始時期を踏まえて営業部門などとプロモーション開始時期を協議し、検討する必要がある。プロモーション開始後は、営業部門から市場の反響や売上実績などの報告を受け、効果を評価し、その結果によって製品戦略を見直す必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった組込みシステムの製品概要を、市場の特徴及び強みとなる自社技術を含めて、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた製品に関するプロモーションにおいて、営業部門及び開発部門に、どのような支援、指示を行ったか。また、それぞれの部門は、どのように行動したか。さらに、プロモーション開始時期の決定に当たって、どのような内容を協議し、検討したか。800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた支援、指示内容及びプロモーション開始時期について、プロモーション開始後の市場の反響、売上実績などから評価した結果を、600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

〔 メ モ 用 紙 〕

〔メモ用紙〕

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) 問題文の趣旨に沿って解答してください。

(2) 解答欄は、“論述の対象とする構想，計画，システムなどの概要”（問 1 又は問 2 を選択した場合に記入），“論述の対象とする製品又はシステムの概要”（問 3 を選択した場合に記入）と“本文”に分かれています。“論述の対象とする構想，計画，システムなどの概要”，“論述の対象とする製品又はシステムの概要”は，2 ページの記入方法に従って，全項目について記入してください。

(3) “本文”は，設問ごとに次の解答字数に従って，それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800 字以内

・設問イ：800 字以上 1,600 字以内

・設問ウ：600 字以上 1,200 字以内

(4) 解答は，丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間に途中で退室する場合には，手を挙げて監督員に合図し，答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	15:10 ～ 16:20
--------	---------------

8. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは，適宜利用して構いません。

10. 試験時間中，机上に置けるものは，次のものに限ります。

なお，会場での貸出しは行っていません。

受験票，黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB），鉛筆削り，消しゴム，定規，時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可），ハンカチ，ポケットティッシュ，目薬
これら以外は机上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後，この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は，いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は，採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり，気分が悪くなったりした場合は，手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は，それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。
なお，試験問題では，™ 及び ® を明記していません。

©2013 独立行政法人情報処理推進機構